

SBL 通信

第3号



2020年9月発行 仙台市危機管理室減災推進課

新型コロナウイルス対策を追加した避難所運営マニュアル(別冊)を公開しています

避難所への避難により新型コロナウイルス感染症が拡大することを防ぐため、各避難所で取り組む感染症対策や、そのための事前検討などを記載しています。従来の避難所運営マニュアル(事前準備解説編、大雨時避難・開設編、活動編、マニュアルシート集、様式集)に加え、新型コロナウイルス感染症の対策として実施する事項をまとめていますので、ご確認ください。
※令和2年6月時点の暫定版として作成しており、今後見直しが予定されています。



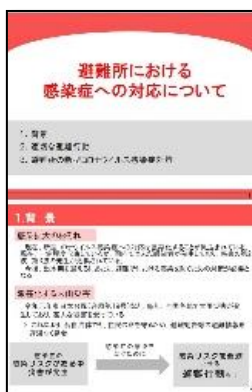
「★閲覧やダウンロードはこちらから」

[仙台市ホームページ](#)>[くらしの情報](#)>
[くらしの安全・安心](#)>[防災・災害対策](#)>
[避難所](#)>[避難所運営マニュアル](#)



避難所における感染症への対応に関する地域説明会を実施しました

上記、避難所運営マニュアル(別冊)の公開を踏まえ、6月25日(木)から7月3日(金)までの間、各区ごとの連合町内会長を対象に地域説明会を実施しました。説明会では、避難所が過密になるのを防ぐための適切な避難行動についてや非常持ち出し品について、改めて説明させていただきました。また、避難所の新型コロナウイルス感染症対策として、避難所の密集や密接を避けるために事前検討していただきたい事項や、避難所での対応例について説明し、ご参加いただいた皆さまから数多くのご意見やご質問をいただきました。頂戴したご意見等は今後、避難者や避難所運営に関わる方々の感染症対策が万全となるよう、避難所運営マニュアル(別冊)の改訂に役立ててまいります。なお、当説明会の内容は避難所担当課へも別途周知しておりますとともに、8月に予定されている仙台市立学校合同校長会を通じ施設管理者あて周知いたします。



※当地域説明会の資料を同封していますのでご確認ください。

説明会での主な質疑応答

Q1 新型コロナウイルス感染症患者や濃厚接触者を避難所で受け入れるのか？

⇒ 緊急の場合を除き、原則として感染者は避難所で受け入れしません。濃厚接触者については避難所で受け入れ、専用スペースへ案内します。(令和2年6月現在)

Q2 新型コロナウイルス感染症が疑われる方の誘導や管理などに不安がある。各避難所に保健師などの専門家を配置できないか？

⇒ 仙台市内の保健師数は限られており、本来の業務も持ち合わせることから配置は困難です。

Q3 ダンボールベッドの準備は無いのか？

⇒ 避難所生活が長期に渡ると見込まれた場合、協定を結んでいる組合から供給されます。

トピックス ▶ 津波避難エリアが変更されました

○津波避難エリアの変更

本市では、津波警報等の発令の際に避難を要する区域として、これまで県道塩釜亘理線を境界として津波避難エリアⅠ、Ⅱを設定してきましたが、この度、東部復興道路(かさ上げ道路)が完成し、内陸側では津波警報等に対して安全性が増したことから、今後は東部復興道路を境界にエリアを設定するよう変更しました。

○津波避難施設・場所の追加

荒井小学校の開校及び震災遺構旧荒浜小学校の南側へ新たに避難の丘が供用開始されたことを受け、これらの2施設についても、津波警報等が発令された際の避難場所として設定いたしました。

※津波避難エリアの変更イメージ



解説 津波避難エリアⅠ:大津波警報、津波警報時に避難が必要な区域
津波避難エリアⅡ:大津波警報時に避難が必要な区域

SBL 活動紹介

泉区向陽台校区では新たに SBL になった方と、避難所運営委員会事務局との顔合わせに併せて、新型コロナウイルス感染症に対応した避難所運営について情報交換・意見交換を行いました。



仙台市シェイクアウト訓練への ご協力ありがとうございました。

6月12日「市民防災の日」に仙台市シェイクアウト訓練を実施しました。参加団体数は前回より57団体増加し、全体で453団体でした。



	参加団体数	参加人数
個人・家族	112	228
学校・幼稚園 保育園等	133	26,518
企業 その他団体	208	16,002
合計	453 団体	42,748 人

まず低く！頭を守り！動かない！＋確認



お知らせ

仙台市では、自主防災活動を支援する目的で各関係団体等と連携し、防災・減災に関する取り組みを推進しています。

仙台観光国際協会(SenTIA)と連携し、外国人防災リーダー育成研修に取り組みました。

市内に住む災害や地域防災に関心のある外国人を対象に(公財)仙台観光国際協会主催による外国人防災リーダー育成研修を実施しました。研修は全2回で、1回目の7月11日(土)には17名が参加し、危機管理室減災推進課による座学のほか、岡山県総社市の外国人防災リーダー譚俊偉(たん しゅんわい)さんによる講演が行われました。また、午後からは令和元年東日本台風により被害のあった地域を見学し、当課により被害状況の説明を行いました。

2回目は8月8日(土)に、指定避難所や備蓄品の見学が予定され地域のSBLの皆さんにご協力をいただきます。



仙台青年会議所と連携し、防災・減災に関する課題解決に取り組みます。

(公社)仙台青年会議所と(公社)日本青年会議所東北地区宮城ブロック協議会は、個人・団体等が行っている防災・減災に関する取り組みや防災意識の向上に繋がるセミナー情報の発信を行うWEBサイト「MIYAGI BOSAI STATION」を8月下旬に立ち上げます。このWEBサイトでは、防災・減災に関する様々な取り組みの発信をはじめ、防災活動を行う上での課題等の解決に向けた情報共有を図ることができますので、各地域の自主防災活動の様子や課題等を投稿し、地域防災力の向上につなげてみませんか。

WEBサイト「MIYAGI BOSAI STATION」

URL: <https://www.sendai-jc.jp/2020/bosai>

お問合せ先: (公社)日本青年会議所東北地区宮城ブロック協議会 担当: 福重 022-222-9786

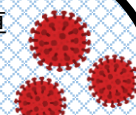


防災・減災NEWS

仙台市防災・減災アドバイザー 折腹久直

“大雨”と“コロナ”

～ 双方から命を守るために ～



新型コロナウイルスが猛威を奮う中でも、災害発生リスクがある場所からはとにかく早く避難すること、目の前に迫る危機から命を守るための最善の行動が、何よりも優先すべき行動です。しかし、これまでのように多くの人が避難所に集まると感染リスクが高まります。

避難と感染防止を両立させるために、これからの避難は、一人ひとりがそれぞれ自分にとって適切な避難行動と避難場所を選択していくことが求められています。

★順番に検討してみましょう★

- ① ハザードマップで自宅の災害リスクを確認する
そもそも、自宅からどこかへ避難することが最適な選択なのか。水害や土砂災害の発生が想定されていない場所であれば、自宅に留まることも選択肢の一つです。
- ② 垂直避難が可能な地域かどうかを確認する
洪水浸水想定区域で、浸水が3mまでと想定されている場所では、自宅の2階以上へ避難することで、浸水の被害から身を守ることが可能です。
- ③ 親戚や知人宅へ避難する
必要な避難とは、災害が発生する恐れのある区域の外へ出ることです。安全な場所に住んでいる親戚や知人宅も、避難場所の候補です。
- ④ 避難所へ避難する
①から③を事前に検討した結果、必要となれば迷わず避難所への避難を選択してください。この場合、マスク、体温計、手洗い用石鹸や消毒液などは各自でご持参ください。



“おりはらアドバイザーの3分間防災ちゃんねる”vol.2
でも紹介しているよ♪僕も出演しているからぜひみてね♪

おりはらアドバイザー



～編集後記～

これから本格的な台風の季節を迎えます。いま一度、備蓄の確認や、新型コロナの状況下でも行える防災活動について考えてみませんか？そして、いざ台風が来た際は、表面で紹介した避難所運営マニュアルを参考にして避難所の感染症対策を行います。今回、各町内会長様あてに避難誘導や救助活動などの災害発生時における自主防災活動に使用するためのマスクを50枚ずつ同封していますので、ご活用いただければと思います。

〒980-8671 仙台市青葉区国分町三丁目7番1号 仙台市役所本庁舎2階 仙台市危機管理室減災推進課
TEL 022-214-3109(直通) FAX 022-214-8096 Eメールアドレス: kks000130@city.sendai.jp

掲載してほしい情報や活動などがありましたら、是非ご連絡ください！ 活動報告やご意見・ご感想もお待ちしております！！